

2021年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年9月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <https://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 2020年9月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第1四半期の連結業績（2020年5月1日～2020年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第1四半期	112,714	△13.5	4,216	△32.1	3,984	△32.3	1,993	△45.5
2020年4月期第1四半期	130,367	△6.6	6,207	2.3	5,882	△7.8	3,658	6.6

(注) 包括利益 2021年4月期第1四半期 1,894百万円 (△29.6%) 2020年4月期第1四半期 2,690百万円 (△30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第1四半期	16.44	16.40
2020年4月期第1四半期	30.13	30.06

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第1四半期	305,246	148,865	48.3
2020年4月期	290,651	149,695	51.0

(参考) 自己資本 2021年4月期第1四半期 147,569百万円 2020年4月期 148,315百万円

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年4月期	—	—	—	—	—
2021年4月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	481,000	△0.5	20,000	0.3	19,800	1.9	13,000	66.8	104.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期1Q	89,212,380株	2020年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	2021年4月期1Q	1,023,467株	2020年4月期	1,023,467株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期1Q	88,188,913株	2020年4月期1Q	88,374,191株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第1四半期	16.44	16.40
2020年4月期第1四半期	30.13	30.06

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年4月期	—				
2021年4月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	114.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年4月期1Q 34,246,962株 2020年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

2021年4月期1Q 1,192,580株 2020年4月期 1,192,090株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年4月期1Q 33,054,605株 2020年4月期1Q 33,056,772株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。個人消費におきましても、僅かに持ち直しの動きが見られるものの、先行き不透明な状態が続くと想定されます。

飲料業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限や外出自粛による経済停滞のマイナス影響に加え、「令和2年7月豪雨」を含めた長雨や低温の影響もあり、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。なお、特別損失として、「令和2年7月豪雨」などによる災害関連費用として4百万円、新型コロナウイルス感染症による損失として3億6百万円を計上しております。

売上高	1,127億14百万円（前年同期比13.5%減）
営業利益	42億16百万円（前年同期比32.1%減）
経常利益	39億84百万円（前年同期比32.3%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	19億93百万円（前年同期比45.5%減）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

[国内茶葉（リーフ）製品]

本年6月、「渋谷ヒカリエ ShinQs」に、本格的な抹茶をカジュアルに楽しめるお茶の専門店『matcha LOVE（マッチャ ラブ）』をオープンいたしました。抹茶のヘルシーさやおいしさ、食文化をより気軽に楽しんでいただきたい思いから、お手前品質の上質な国産抹茶を使用した抹茶ドリンクやソフトクリーム等を提供しております。

また本年7月には、農林水産省が展開する「令和2年度 国産農林水産物等販売促進緊急対策事業 品目横断的販売促進緊急対策事業におけるインターネット販売推進事業」に参画し、お茶の生産者と消費者をつなぎ、リーフ茶の消費・認知拡大を目指す新しいネット通販ページを、当社のコミュニティメディア『CHAGOCORO（チャゴコロ）』内に立ち上げました。サイト内では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた生産者の皆様を支援すべく、丹精込めて作り上げた国産リーフ茶やティーバッグを販売しております。

当社はこれらの出店や取組みを通じ、“お茶の伊藤園”として、日本中、世界中にお茶の魅力を届け、日本のお茶業界の活性化と更なる発展に貢献してまいります。

[国内飲料（ドリンク）製品]

「お〜いお茶」ブランドでは、本年6月に、茶葉のおいしさをそのまま引き出したカフェインゼロの緑茶飲料「お〜いお茶 カフェインゼロ」を発売いたしました。同製品は、当社の技術を駆使しカフェイン量を抑えた原料茶葉（無香料・無調味）を使用し、さらに抽出工程において工夫を施すことでカフェインゼロを実現した緑茶飲料です。カフェインゼロでありながらも、茶葉本来の香りと味わいをお楽しみいただけます。

ウーロン茶飲料においては、本年7月に、1980年に世界初の無糖茶飲料を開発してから40年を経て、現代人の嗜好に合ったウーロン茶飲料「烏龍茶」を発売いたしました。同製品は、華やかで甘い香りが特徴の「色種」と、鮮やかな赤褐色の水色とすっきりした渋みが特徴の「水仙」の2種類の原料茶葉をバランスよくブレンドすることで、烏龍茶本来のコクがありながらもすっきりとした後味をお楽しみいただけます。

ノンカフェイン茶系飲料No.1である「健康ミネラルむぎ茶」においては、無糖、カフェインゼロ、カロリーゼロで幅広い層にご好評いただいております。また、熱中症対策だけでなく、スポーツ時に失われる水分・ミネラルを手軽に補給できる飲料として、より多くのお客様にご愛飲いただいております。

コーヒー飲料である「TULLY'S COFFEE」は、コーヒー豆・焙煎・抽出にこだわり、最高の一杯を追求するタリーズのバリスタが監修したプロフェッショナルクオリティーの飲料として成長を続けており、お客様の多様な嗜好に沿った製品を展開し、「TULLY'S COFFEE」ブランドのさらなる販売強化を図っております。

[海外茶葉(リーフ)製品]

米国、中国を中心に「グローバルブランド」で展開する「MATCHA GREEN TEA」の積極的な販売を継続して行ってまいりました。

[海外飲料(ドリンク)製品]

健康志向の高まりや日本食ブーム等を背景に、「お〜いお茶」を中心に無糖茶飲料の積極的な販売を継続して行ってまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による外出制限や自粛の継続、それに伴う需要回復の遅れが、当第1四半期連結累計期間の業績に大きな影響を与えました。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は1,060億44百万円(前年同期比11.5%減)となり、営業利益は51億22百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、8月7日の創業日を記念し、日頃のお客様への感謝の気持ちを込めて限定のコーヒー豆やグッズを詰め合わせた「23rd Anniversary Happy Bag」や、家カフェ需要にもお応えする季節限定のコーヒー豆を発売し、ご好評いただきました。また、バリスタが一杯一杯丁寧に抽出したエスプレッソショットの奥深い味わいと香りをお楽しみいただける季節限定シェイク「エスプレッソシェイク」も好調に推移しました。新規出店も順調に進み、総店舗数は762店舗になりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に対しては、従業員の手洗い・アルコール消毒・出勤前の検温・マスクの着用、飛沫感染防止策としてレジ前のビニール幕等の設置、ソーシャルディスタンスの確保など、積極的な感染予防対策の徹底・強化を講じてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による外出制限や自粛の継続、それに伴う来客数回復の遅れが、当第1四半期連結累計期間の業績に大きな影響を与えました。

この結果、飲食関連事業の売上高は50億84百万円(前年同期比43.1%減)となり、営業損失は8億77百万円(前年同期は営業利益10億35百万円)となりました。

<その他>

売上高は15億85百万円(前年同期比5.1%減)となり、営業利益は1億52百万円(前年同期比27.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は3,052億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ145億95百万円増加いたしました。これは主に「現金及び預金」が41億10百万円増加、「受取手形及び売掛金」が75億18百万円増加、「商品及び製品」が33億87百万円増加、「リース資産」が8億5百万円減少したことによるものであります。

負債は1,563億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ154億24百万円増加いたしました。これは主に「支払手形及び買掛金」が65億49百万円増加、「未払法人税等」が12億30百万円減少、「賞与引当金」が18億57百万円減少、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は1,488億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億29百万円減少いたしました。これは主に「親会社株主に帰属する四半期純利益」による「利益剰余金」が19億93百万円増加、「剰余金の配当」による「利益剰余金」が25億90百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期の業績予想につきましては、2020年6月15日に発表した業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が特に第1四半期に及ぼすものと想定しておりましたが、未だその収束時期は不透明であり、当社グループの経営成績に与える影響額を合理的に算出することが困難であるため、通期の予想のみとしております。

今後の新型コロナウイルス感染症拡大の業績に与える影響等を踏まえ、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,813	68,923
受取手形及び売掛金	49,168	56,687
商品及び製品	35,710	39,098
原材料及び貯蔵品	10,013	11,323
その他	14,359	13,421
貸倒引当金	△99	△88
流動資産合計	173,966	189,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,203	22,556
土地	22,046	22,139
リース資産(純額)	15,527	14,721
その他(純額)	23,209	22,935
有形固定資産合計	82,986	82,354
無形固定資産		
のれん	7,875	7,553
その他	3,695	3,656
無形固定資産合計	11,570	11,209
投資その他の資産		
その他	22,312	22,489
貸倒引当金	△184	△172
投資その他の資産合計	22,128	22,317
固定資産合計	116,685	115,880
資産合計	290,651	305,246
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,447	32,996
短期借入金	6,820	6,420
リース債務	3,979	3,725
未払費用	23,631	25,279
未払法人税等	3,220	1,989
賞与引当金	3,783	1,925
その他	3,190	4,534
流動負債合計	71,072	76,871
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	38,922	48,509
リース債務	5,956	5,803
退職給付に係る負債	10,612	10,751
その他	4,393	4,445
固定負債合計	69,884	79,509
負債合計	140,956	156,381

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,646	18,646
利益剰余金	121,848	121,251
自己株式	△6,499	△6,500
株主資本合計	153,907	153,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,232	1,312
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	△449	△737
退職給付に係る調整累計額	△322	△262
その他の包括利益累計額合計	△5,592	△5,740
新株予約権	167	194
非支配株主持分	1,213	1,101
純資産合計	149,695	148,865
負債純資産合計	290,651	305,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)
売上高	130,367	112,714
売上原価	67,813	58,954
売上総利益	62,553	53,760
販売費及び一般管理費	56,346	49,544
営業利益	6,207	4,216
営業外収益		
受取利息	21	15
受取配当金	40	33
持分法による投資利益	26	25
その他	183	161
営業外収益合計	271	235
営業外費用		
支払利息	96	92
為替差損	388	273
その他	110	101
営業外費用合計	596	467
経常利益	5,882	3,984
特別利益		
固定資産売却益	2	3
固定資産受贈益	1	—
雇用調整助成金	—	308
特別利益合計	4	312
特別損失		
固定資産廃棄損	10	44
投資有価証券評価損	4	12
減損損失	4	5
災害による損失	—	4
新型コロナウイルス感染症による損失	—	306
特別損失合計	19	373
税金等調整前四半期純利益	5,866	3,923
法人税等	2,177	1,876
四半期純利益	3,689	2,047
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,658	1,993

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	3,689	2,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△268	101
為替換算調整勘定	△738	△303
退職給付に係る調整額	8	60
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△11
その他の包括利益合計	△999	△153
四半期包括利益	2,690	1,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,688	1,845
非支配株主に係る四半期包括利益	1	48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2019年5月1日至2019年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	119,769	8,928	1,669	130,367	—	130,367
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	78	3	768	851	△851	—
計	119,848	8,931	2,438	131,218	△851	130,367
セグメント利益	5,269	1,035	210	6,516	△309	6,207

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△371百万円、セグメント間取引62百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年5月1日至2020年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	106,044	5,084	1,585	112,714	—	112,714
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	54	3	826	884	△884	—
計	106,099	5,087	2,411	113,599	△884	112,714
セグメント利益	5,122	△877	152	4,398	△182	4,216

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△247百万円、セグメント間取引64百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。